



**3M**

# DI-NOC™

Architectural Finishes

3M™ ダイノック™ フィルム

Case Study | 2024

国際水準の超高層オフィスで  
インテリアの軸となる白木調の  
デザイン

麻布台ヒルズ 森JPタワー

## 3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

麻布台ヒルズ 森JPタワー 日本 東京

### 上質な空気感で統一されたオフィス共用部デザイン

東京・港区に2023年オープンした「麻布台ヒルズ」は、30年以上の年月を掛けた市街地再開発事業。住宅やオフィス、ホテル、ショップ、更にインターナショナルスクールなどを含む、区域面積で8.1haにも及ぶ大型複合開発だ。運営や設計等で中心的に関わる森ビルの設計部・増沢氏に、3M™ ダイノック™ フィルムが採用された「森JPタワー」のオフィス共用部インテリアデザインについて話を伺った。

麻布台ヒルズはコンセプトで「Green & Wellness」が謳われており、区域内は住宅・ホテルといったレジデンシャルな空間の比率も高いことから、インテリアも全体に自然なイメージの人に優しい素材感やカラーでまとめられている。それぞれの施設も有機的でシームレスな動線で繋がれていてより一体感がある。

「地下1～1階のオフィスロビーは、ヤブプッシュェルバーグ (Yabu Pushellberg) がデザインしています。そのイメージを引き継ぎながら、オフィス共用部としての機能など様々な要件を満たす必要がありました」と増沢氏。森JPタワーの7～52階を占めるオフィスの基準階面積は4800㎡で、共用部もかなりのボリュームとなる。

「この壁面のデザインがオフィス全体の軸になってくるため、慎重に検討を重ねました」。



前頁／森JPタワーのオフィス基準階共用通路。加飾のないミニマルなデザインのため、白木調の木目 (FW-2422) が相対的に生きてくる。コーナー部も綺麗な仕上がりがた。

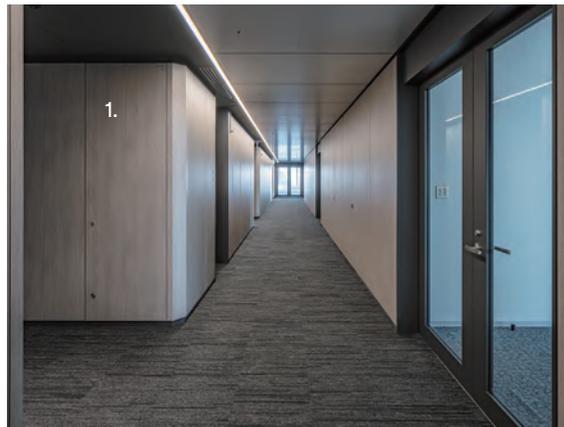
左／エレベータホールのサインは3M™ ダイノック™ フィルム DGシリーズ (デザインガラスフィルム) の特注品を採用。壁面の同柄と案内図が一体で接着面を構成、その上からアクリルで覆う。フラットでスマートな佇まいを実現。



上／オフィス基準階のエレベータホールは、落ち着いた照明と木目 (FW-2422) の調和でホテルライクな雰囲気もある。

左／通路見通し。貸室の扉框や三方枠も3M™ ダイノック™ フィルム (特注品) で仕上げられている。

右／木目柄 (FW-2422) はリピートが気にならず自然な見え方となっている。点検扉の鍵や取手との取り合いもスマートだ。



# 3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

麻布台ヒルズ 森JPタワー 日本 東京



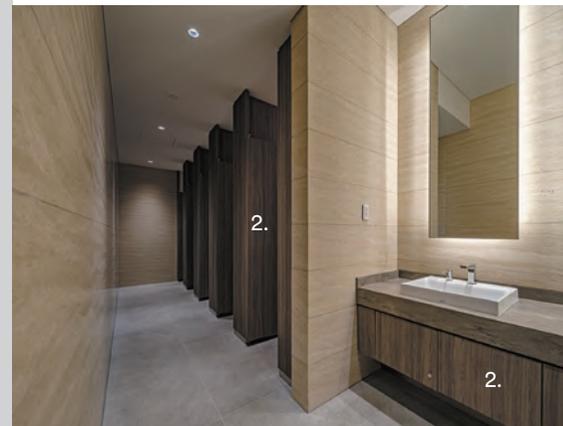
オフィス基準階の男性用トイレ。ここでは便器側の壁面や柱型などと同じ木目柄 (FW-2422) が採用されている。



森JPタワー33階の「ヒルズハウス」の喫煙室。壁面左側にAE-1636AR、右側はDW-2221MTがそれぞれ採用されている。



森JPタワー33～34階のヒルズハウスには、スカイロビーや会員制のラウンジ、グランビストロ「Dining 33」などがある。インテリアデザインはジャモアソシエイツ (Jamo associates) が手掛けた。各施設への動線となる通路は、壁面に明暗をつけることで人の流れや高揚感を緩やかに促す。木目調の部分にDW-2221MT、白い壁面はPS-3864MTを採用。



33階の女性用トイレ。個室ブースと洗面下の収納扉にDW-2221MT。



同じく33階のパウダーコーナー。ミラーの上下にDW-2221MT、右側壁面にPS-3864MT。

# 3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

麻布台ヒルズ 森JPタワー 日本 東京

## 質感と機能性がベストを追求するオフィスデザインに貢献

通路幅はできる限り広く、また設備コアが集中する共用部は点検口や扉が必然的に多くなる。更にトイレや給湯室など水まわりでも安心して使える素材が望ましい。3M™ ダイノック™ フィルムの持つ高い機能性が評価された点だ。防火戸や点検扉、トイレブースなどの端部や入り隅を美しく納められる高い施工性と部位を選ばない清掃性や耐久性。かつ、今回は膨大な採用量を賄えるキャパシティも求められた。実際に3Mでも近年稀に見る最大規模の受注となった。

「3M™ ダイノック™ フィルムが優れていたのは、やはりその意匠性。マットな淡い色合いの白木調のデザインは、微かなエンボス加工も含まれて、我々の求めている自然を感じさせるイメージに合っていました。麻布台ヒルズでは国内外の著名なデザイナーに携わっていただけてますが、その突出した質感の良さに皆さん感心されていました」。

### 麻布台ヒルズ 森JPタワー

設計 | 森ビル株式会社、株式会社日本設計

インテリアデザイン | Yabu Pushellberg (オフィスロビー)

株式会社日本設計 (オフィス基準階)

Jamo associates (ヒルズハウス)



高さ約330m、延床面積約46万㎡、想定就業人数は街全体で約2万人。強固なBCP対策やRE100に対応した街区への電源供給を謳う。基準階天井高は3mで先端でハイグレードな位置付けのオフィスだ。写真は地下1階からの吹き抜けとなったオフィスロビー。



森ビル株式会社  
設計部  
増沢 唯氏

今回、3Mでは特別に耐傷性のテストを実施。微細な擦り傷が経年で目立ちやすくなるのを避けるため、色合いやデザインの検討に役立ててもらった。「どのデザインも機能上は全く問題ない性能を持っていますが、細かな傷も重なると目立ってくる。そうすると意匠が優れていても採用しづらい。我々は10年、20年経っても国際水準に合うハイグレードオフィスとして維持していきたいので、こうした協力については大変感謝しています」。

「オフィスのデザインといっても非常に多彩な箇所があり、目立つ表舞台だけでなく、見え掛かりや取り合いなど複雑な納まりを求められ、現場で対処すべきこともある。より優れたデザインを追求する上で、高い意匠性、バリエーションの豊富さ、施工性の良さなど、3M™ ダイノック™ フィルムの存在にはいつも助けられていて、何よりその実績に裏打ちされた高い安心感があります」と増沢氏は締め括った。



3M、DI-NOC、ダイノックは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社  
<http://go.3m.com/dinoc/>

© 3M 2024. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-123

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)